

(法第10条第1項第5号関係様式例)

設立趣旨書

1 趣 旨

近年、障害を持つ児童等の数が増加する中、彼らが安心して参加できるスポーツや運動の機会は極めて限られています。特に地域においては、障害を持つ児童等が身体を動かし、他者と関わることのできる環境が十分に整備されていない現状があります。こうした状況は、運動不足や社会的孤立を引き起こす要因となり、健康リスクの増大や将来の選択肢の制限にもつながっています。

さらに、障害を持つ児童等は日常的に「できないこと」に直面しやすく、自己肯定感を育む機会や社会的な発達場の場が不足しています。私たちは、スポーツ、とりわけサッカープログラムを軸としながら、彼らが挑戦し、成功体験を積むことができる機会を創出することで、地域社会の一員として自立した生活を営む力を育てることを目指しています。

このような活動の中で、私たちは、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫し、個人の尊厳を保持しつつ、地域社会において自立した生活を営むことができるように支援し、福祉の増進に寄与することを目的としています。障害を持つ方々が孤立することなく、地域の中で自然に共生できる環境をつくるのが、私たちの使命です。

こうした理念を社会に広く理解していただくためには、活動が営利目的ではなく公益的であることを明確に示す必要があると考えました。そこで、上記の観点から、社会的にも認められた公的な組織としての信頼性を確立するため、特定非営利活動法人格を取得することが最適であると判断しました。法人格を有することにより、組織としての発展と継続的な活動が可能となり、利用者とその家族が将来に希望を持ち、地域の方々と共に支え合いながら、共存共栄できる地域社会の実現に貢献できると確信しています。

2 申請に至るまでの経過

令和7年9月28日 特定非営利活動法人設立のための勉強会開催

令和7年10月5日 設立総会開催

令和7年10月5日

NPO 法人 KickSta

設立代表者

氏名 杉馬場祐